
 情報コーナー

★会合やイベント

天文教育普及研究会 関東支部会 開催のご案内

天文教育普及研究会 関東支部では、天文教育・普及に関する情報交換を目的とした支部会を開催いたします。今回は 5 月 21 日にせまった金環日食をテーマとし、関連した講演会を行う事を予定しております。会員・非会員を問わずご参加いただけますので、ふるってお申し込み下さい。

関東支部長 飯塚礼子

日 程：2012 年 3 月 11 日(日)

時 間：13 時～ 予定

テーマ：金環日食と天文教育普及（仮）

会 場：平塚市博物館（神奈川県平塚市浅間町 12-41）

主 催：天文教育普及研究会 関東支部、平塚市博物館

プログラムは調整の上、後日ご案内いたします。支部会終了後には、近隣での懇親会も予定しております。

支部会では、日食をテーマとするものはもちろん、日食以外の天文教育・普及に関わる研究・事例発表についても受け付けます。参加を希望される方は、以下の申込方法に従ってお申し込み下さい。

申込方法：以下の事項を記入の上、2 月末日までに [kanto tenkyo.net](http://kanto.tenkyo.net) までお申し込み下さい。

- ・氏名
- ・所属
- ・懇親会参加の有無
- ・メール不通の際の連絡先（電話 or 住所）
- ・ご要望など
（発表を希望される方は、以下の項目もご記入下さい）
- ・発表者氏名
- ・タイトル
- ・発表機材

問い合わせ先

関東支部委員 八巻 富士男

会場までの公共交通のご案内

- ・JR 東海道本線 平塚駅より

徒歩の場合：約 15 分（約 1km）

バス本厚木駅南口行きまたは田村車庫行き 日産車体前下車 徒歩 3 分

- バス大島経由田村車庫行き 美術館入口下車 徒歩 3分
- ・小田急線 本厚木駅より
バス平塚駅行き 日産車体前下車(乗車約 40分) 徒歩 3分
 - ・小田急線伊勢原駅より
バス平塚駅行きまたは伊勢原団地経由平塚駅行き(乗車約 30分)
市役所前下車 徒歩 7分

* * * * *

第 1 回 宇宙（天文）を学べる大学合同進学説明会@日本天文学会 天文学者に進路を相談しよう！

来る 3 月 19 日（月）から 22 日（木）にかけて、龍谷大学で日本天文学会 2012 年春季年会が開催されます。天文学会には、全国各地の宇宙や天文を学べる大学から、多数の天文学者・宇宙科学者が集まります。そこでその機会に合わせて、会期中の祝日にあたる 3 月 20 日（火）に、数十の大学の研究者が直接に、大学での研究活動や教育活動について、ポスターや研究資料の前で解説をしたり、進学相談に乗ったりします。

また並行して、高校生による発表会（ジュニアセッション JS）も開催されているので、そちらにも参加していただけます。

大学や研究室とはどういうところなのか、各大学の研究室にはどんな教員がいて具体的にどんな研究活動や教育活動をしているのか、研究室の雰囲気や出身学生の就職先なども含め、宇宙（天文）を学べる大学および研究室での活動を総合的に紹介します。

日 時：平成 24 年 3 月 20 日（火）

午前 11 時～午後 2 時頃まで（コアタイムは昼休み時間）

（受付 10 時 30 分より）

場 所：龍谷大学 深草キャンパス（京都市伏見区）

アクセス

(http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_fukakusa.html)

主 催：日本天文学会・有志世話人

対 象：宇宙（天文）を学べる大学への進学に関心がある高校生を中心とする一般の方
どなたでも。大学院の情報が欲しい大学生の方も歓迎。

内 容（予定）（学会プログラムが決まるまで時間は暫定的なものです）

10：00 会場設営（世話人、参加大学）

10：30 受付開始（プログラム、アンケート配布）

11：00 挨拶、大学紹介（主に JS 以外の参加者向け）

ポスターセッション I（JS 以外の参加者はここがメイン）

11：45 JS 午前口頭セッション終了

JS 会場での挨拶、大学紹介

- 12:30 昼休み
受付（プログラム、アンケート配布）
ポスターセッション II（JS 参加者はここがメイン）
- 13:30 JS 午後開始
ポスターセッション III（JS 以外+JS でもっと聞きたい人）
- 14:00 適宜、終了予定

現在の参加予定大学（アイウエオ順）

- 青山学院大学理工学部
- 大阪教育大学教育学部
- 京都産業大学理学部
- 京都大学理学部
- 神戸大学理学部
- 埼玉大学理学部・教育学部
- 福岡教育大学教育学部
- 明星大学理工学部
- 山形大学理学部

問い合わせ先：大阪教育大学 福江 純

* * * * *

第2回 2012年金環日食講習会 in 大阪

大阪教育大学地域開放事業講座「平成24年5月21日金環日食を観察しよう！(2)」

平成24年5月21日の朝6時過ぎから9時頃に、九州・四国・近畿・中部と関東地方の南で金環日食が起こり、大阪でも約90%ぐらい欠けた日食が起こります。

日本では、数十年ぶりの出来事です。天文ファンは指折り数えて待ちわびているでしょうが、当日が近づくとマスコミでも取り上げられることでしょう。そして、学校でも大きな話題になり、金環日食の観察会が企画されることが予想されます。一度きりの天文ショーで、十二分に金環日食の素晴らしさを楽しむには、周到な準備と予行演習が必要です。とくに、子どもたちが安全安心に観察できる方法を伝えることが重要になります。本講座では、日食観察の経験が全くない教員や学生を対象に、日食の概要から安全な日食の観察法などの基本的な説明を行います。

主催：大阪教育大学

後援：2012年金環日食日本委員会

日時：2012年2月18日（土） 午後1時より4時ごろまで（受付12時より）

場 所：大阪教育大学天王寺キャンパス 中央館 2 1 5 講義室

講 師：大西浩次（長野工業高等専門学校）時政典孝（西はりま天文台）福江 純（大阪教育大学）

参加対象：小中高の教員・大学生

参加費：無料

定 員：100名まで

持参物：筆記用具、のり、はさみ、カッター

募集期間：11月28日（月）～2月20日（金）まで

◆講座内容

1. 2012年金環日食の概要（大西）
2. 太陽の色と姿（福江）
3. （アドバンス）ビギナーの日食撮影
4. 安全な観察方法：ソーラーフィルター、ピンホールスコープ、投影板（時政）
5. 予行演習＋曇ったときはどうする？
6. 質疑、現場からのコメント、準備状況

オプション 太陽の観察（検討中）

配布物（予定）：講習パンフレット ピンホールシート

申し込み方法：以下の情報を下記申込先まで電子メールでお知らせください。

（1回目と申込先が異なります）

1. 名 前：
2. 所 属：
3. 連絡先電子メールアドレス（なるべく PC）：

申し込み：公開講座係

問い合わせ：福江 純

引き続き、第3回も下記により予定しています。詳細は3月号に掲載します。

第3回 2012年金環日食講習会 in 大阪

（大阪教育大学地域開放事業講座「平成24年5月21日金環日食を観察しよう！（3）」）

日 時：2012年4月28日（土） 午後1時より4時ごろまで

場 所：大阪教育大学天王寺キャンパス

講 師：（未定）

内 容：

1. 2012年金環日食の概要
2. 太陽と地球の関係、宇宙天気予報など（検討中）
3. （アドバンス）金星の太陽面通過（2012年6月6日）（検討中）
4. 安全な観察方法：まとめと注意事項
5. 金環日食後の展開・天文学習教材としての太陽
6. 質疑、現場からのコメント、準備状況

オプション 太陽の観察（検討中）

* * * * *

第17回天体スペクトル研究会のご案内 (第1報 2012.1.10.)

天体スペクトルに興味をお持ちの方、学校などで天体スペクトルを教えている方、天体スペクトルを研究している方々を中心とした研究会を開催いたします。分光法による調査・研究の結果、教育実践、普及活動等に関連する幅広い事項についての発表を歓迎致します。ふるってご参加ください。

実行委員会委員長 加藤賢一

開催要項

日 時：2012年3月3日（土）午後1時～4日（日）午後1時

会 場：大阪市立科学館 530-0005 大阪市北区中之島 4-2-1

（地図 <http://www.sci-museum.jp>）

参加費：無料

交 通：詳しくは <http://www.sci-museum.jp> を参照願います。

1. 地下鉄 四つ橋線・肥後橋駅（3号出口）から西へ約500m 御堂筋線・淀屋橋駅（4号出口）から西へ約1000m
2. JR 環状線福島駅、JR東西線新福島駅から南へ約900m
3. 阪神電車 福島駅（3号出口）から南へ約800m
4. 京阪電車 中之島線・渡辺橋駅（2号出口）から南西へ約400m

申し込み〆切：

研究発表：2012年2月17日（金）

参 加：2012年2月25日（土）

申し込みフォーマット、送付先

1. 氏 名：
2. 所 属：
3. 連絡用電子メール（申し込み時のアドレスと異なる場合）：
4. 集録送付先住所： 〒
5. 発表の有無、口頭・ポスターの別：
6. 発表タイトル：
概要（200字まで）：
7. 発表上の注意事項（液晶プロジェクタ以外の機器など）：
8. 参加日程：3月3日のみ、3月4日のみ、両日
9. 懇親会（3月3日の夕方、¥3000円ほど）：参加する、しない
10. 送付先：

【諸注意】

発表にあたって

- ・集録用原稿：当日ご持参下さい。A4版4ページ程度まで
- ・口頭発表が多い場合：ポスターに変更をお願いする場合があります

参加にあたって

- ・宿泊先：幹旋は致しません。各自で確保願います。なお、土曜日は周辺地域のホテルは予約がとりにくいのでご注意ください。交通の便が良いので、郊外にとられてもよろしいかと思えます。

問い合わせ先

加藤 賢一 : 大阪市立科学館、
電話：06-6444-5656

【参考資料】

・実行委員会構成

委員長	加藤賢一（大阪市立科学館）		
委員	西村昌能（京都府立洛東高校）	井上和俊（元大阪府立箕面高校）	
	片平順一（中之島科研）	河北秀世（京都産業大学）	
	野上大作（京都大学）	本田敏志（京都大学）	
	松本 桂（大阪教育大学）		
顧問	定金晃三（大阪教育大学）		

・共催団体（順不同、予定含む）

大阪市立科学館（大阪府）、西はりま天文台公園（兵庫県）、ぐんま天文台（群馬県）
美星天文台（岡山県）

・第16回天体スペクトル研究会（2011年）での発表例

詳しくは次をご覧ください：<http://www.kcat.zaq.ne.jp/aaagq805/16thpro.htm>

スペクトル観測イベントについて

高2学習「光で見る宇宙・物質」

黒点の発生を捉えた（AFSの視線速度測定生徒実習）

天体のデジタルスペクトルアトラスに向けた色データベースの作成

安価な市販分光器を利用した小惑星スペクトルサーベイ計画

超新星および新星の追跡観測体制について

食変光星 8Lyr の低分散分光観測ならびに多色測光観測

Be星 EW Lac の V/R 変動期（1975-1985）における円盤の振るまい

可視光高分散分光観測による彗星アンモニアのオルソ／パラ比サーベイ

輻射輸送の復活

など